

1 福山市の人口の現状分析

(1)人口動態

- 出生数は減少を続ける一方、死亡者数は増加傾向にあり、2012年（平成24年）以降は自然減に転じている。
- 合計特殊出生率は、2008年（平成20年）からの5年平均では1.71で、広島県平均の1.54を大きく上回っている。特に、都市部の中では突出しているが、出生数は横ばいである。
- 性別、年齢別の転出入数では、若年層の転出超過が顕著である。

(2)雇用

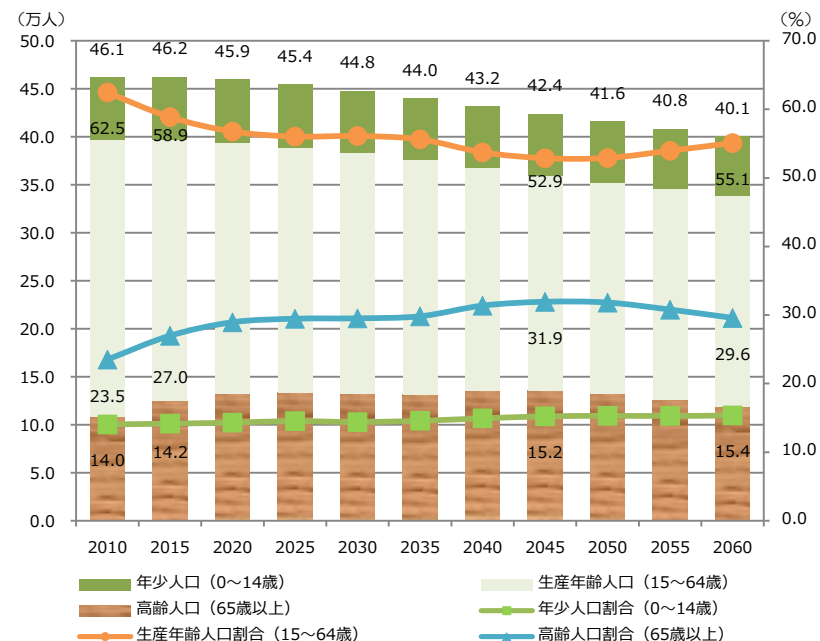
- 製造業の集積に特長があり、大きな強みであるが、金融・保険業、飲食店、宿泊などのサービス業の集積は、岡山市や倉敷市などの近隣都市に比べ弱い。
- 今後、20～30歳代の雇用を促進することが有効と考えられるが、女性の人口維持のためには、小売業など、近隣都市に比べ弱い産業での雇用促進も必要と考えられる。

2 めざすべき将来の方向性

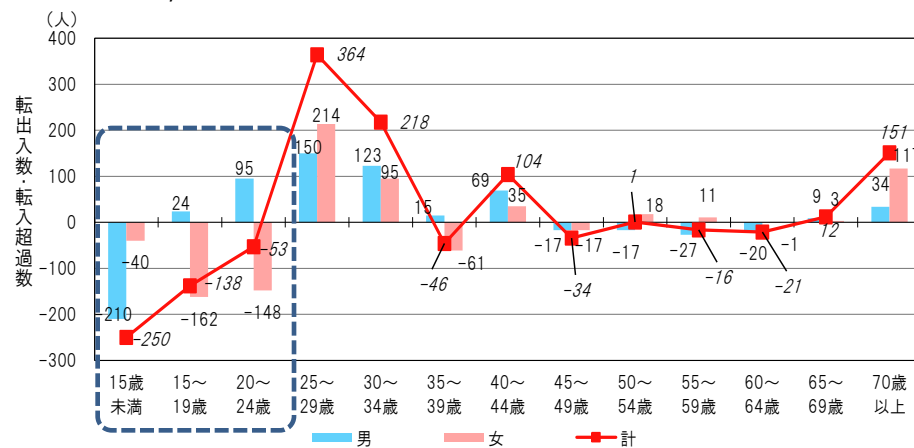
- (1)結婚・出産・子育てに関する希望を実現し、人口の自然減少を抑制する
若い世代が将来に夢と希望をもち、安心して家庭を築き、出産、子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる環境づくりを推進
- (2)「しごと」と「ひと」の好循環をつくり、人口の社会減少を抑制する
人口流出抑制のため、働く場の確保、雇用の受け皿づくりによる「若者の地元就職」の促進、大都市圏等からのUIターンの推進
- (3)連携中枢都市圏構想（広域連携）を推進し、魅力ある拠点的形成する
産学金官民などの多様な主体が柔軟に連携し、人口減少、少子化・高齢化社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点の形成

2025年（平成37年）までに市民希望出生率**1.97**を達成できるよう、
実効性の高い施策を立案・実施する

■ 図1 福山市の人口推計



■ 図2 性別、年齢別 転出入数 (2012年 (平成24年) ~2013年 (平成25年) 合計)



(資料) 福山市人口ビジョン

福山市総合戦略の概要と主な取組

【めざまちの姿】

安心・安全な社会を基盤として、乳幼児から高齢者まで、地域のだれもが心豊かに、生き生きと自分らしく暮らせるまちなめざまちの姿の実現に向け、次の4つの視点に基づき、行政や産業界、大学、金融機関、労働団体、メディアなどが連携・協力し、取組を進めていく。

全体の施策体系と、喫緊の課題である若年層の流出抑制に係る主な取組は次のとおりである。

「福山市総合戦略」4つの視点

(具体的な施策を抜粋、●：びんご圏域ビジョンに基づく施策)

視点1 安定した雇用を創出する

- ものづくり産業の競争力強化
●産業支援拠点機能の充実 ○企業立地の促進
- 第一次産業の活性化
●6次産業化の推進 ○新規就農者・漁業就業者の育成
- 若者定着の促進と安定した雇用の創出
●女性の創業支援 ●雇用対策 ○創業促進支援
- 高等教育機能の強化

視点2 魅力を高め、新しいひとの流れをつくる

- 観光振興 ●戦略的な観光振興 ○コンベンション誘致の推進
- 地域振興 ●備後圏域定住促進 ○中心市街地の活性化

視点3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 結婚の支援
○若者交流の支援
- 出産・子育ての支援
○出産支援の充実 ○子育て支援情報の発信強化
○ワーク・ライフ・バランスの推進

視点4 安心・安全に暮らし続けることができる地域をつくる

- 医療・福祉サービスの充実
○医師や看護師等の人材確保 ○地域包括ケアシステムの構築
- 健康づくり ○食育の推進
- 時代に対応したまちづくり
○連携中枢都市圏構想の推進 ○未来を拓く拠点づくり
- 地域を支える人材育成
○持続発展教育(E S D)の推進 ○地域で学習できる環境づくり

若者の地元定着の促進

〔視点1(2)(3)、視点2(2)、視点3(1)(2)〕

- 6次産業化推進事業
■新商品開発や加工施設等の整備に必要な経費の一部を補助
- 経営安定対策事業
■認定新規就農者が作成する営農計画に対する指導・助言
- 雇用対策
■ばらのまち福山学生登録
■就職セミナーの開催(福山、首都圏、関西圏)
■企業紹介サイトの構築
- 創業促進支援事業
■商店街で創業したい若者を対象にした補助制度の拡充
- 定住・移住促進PRブック・DVDの作成等
■PRブック・DVDの作成、WEBサイトの構築
- 若者交流の支援
■交流イベントの実施、企業による交流機会の拡大
- 一般不妊治療費助成事業
■一般不妊治療への助成(申請数417件)
- 子育て支援システム開発事業
■子育て支援に関するポータルサイト・アプリケーションの運用

女性の活躍促進

〔視点1(3)、視点3(2)〕

- 女性の創業支援
■女性交流会の開催
地元団体との共催で、女性のための交流イベントを開催
- ワーク・ライフ・バランスの推進
■「ふくやまワーク・ライフ・バランス認定制度」を創設
男女共同参画に取り組む事業者等を認定(申請数40件/2016年6月末現在)
■女性テラスの開催(年4回開催)

まちの魅力づくり

〔視点2(1)(2)〕

- インバウンド観光対策事業、地域資源を活用した観光振興事業
- 産業・環境観光推進事業、観光網網船整備費補助
- 都市ブランド戦略推進事業
- 備後の魅力まるごと発信事業
- 市制100周年記念行事記念映画事業負担金
- 産学官連携推進事業